

# 一通の外交文書に秘められた古代天皇の思惑とは？

日本が渤海・新羅・唐と交わした外交文書〔国書〕を収集、  
難解な史料を校訂し、詳細な註釈と現代語訳を付す！

## にほんこだい がいこうもんじよ 訳註 日本古代の外交文書

鈴木靖民・金子修一・石見清裕・浜田久美子 編

【執筆者】 赤羽目匡由・伊藤さやか・河辺隆宏・河野保博・窪田藍・河内春人・近藤剛・  
澤本光弘・鄭淳一・鄭東俊・中野高行・廣瀬憲雄・堀井佳代子・皆川雅樹・村上史郎

本体 10,000 円＋税 **好評につき 2 刷！** 2015 年 2 月 20 日 出来

A5 判・上製本・函入・448 頁 ISBN978-4-8406-2601-9 C3021 ¥10000E

- 大明 6 年（中国宋・462）から延長 8 年（930）まで、日本が発信・受信し、渤海を中心に宋・隋・唐・新羅等と交わされた 50 通の外交文書〔国書〕を収録。日本・中国・朝鮮史の対外関係専門家が集結し、徹底解明。
- 訳註本文には、概要、本文、校異、訓読、語釈、現代語訳、考察を収録。難解な外交文書を理解する情報を網羅。
- 本論の理解の前提として、中国や日本古代の外交文書の制度及び外交儀礼について説明した「総論」を収録。
- 国書を理解するための多彩な附録
  - ・ 各種一覧：参考史料、参考文献、渤海使一覧、遣渤海使・送渤海使一覧、新羅使一覧（文武朝以後）、遣新羅使一覧（文武朝以後）、遣唐使一覧
  - ・ 地図、系図：古代日本駅路図／渤海使航路／新羅の九州・五京／吐号浦の位置比定／唐時期全図／新羅王系図／渤海王系図

### 【本書からわかること】

- ・ 日本と朝鮮・中国という双方向から発信された史料を検討することで、外国からみた日本、日本がみた外国というさまざまな視点から国家間の交流を読み取ることができる。
- ・ なかでも自国の文献資料を持たない渤海国の書いた文書をすべて収録。渤海と日本とのやり取りを知る基本史料となる。
- ・ 四六駢儷体など、難解な字句で綴られた外交文書でも、一字一句検討することで、そこにあらわれる国家の「本音」が見られる。
- ・ 唐の盛衰と朝鮮、渤海など、東アジア国際関係を生々しく語る。

八木書店

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 3-8

Tel:03-3291-2961 / Fax:03-3291-6300 pub@books-yagi.co.jp <http://www.books-yagi.co.jp>

**【概要】**  
 弘仁十年(八一九)十一月に來日した渤海使の李承英は、渤海第十代国王大仁秀の啓をもたらした。本文書はその王啓で、内容は「前使」である慕感徳に対する嵯峨天皇の厚遇に感謝するものである。李承英一行は翌年正月一日に朝賀に参加し(参考史料2)、七日には叙位がなされた(参考史料3)。その後、同月二十一日には慰勞詔書が発給され(文書No.32)、翌日帰途についた。

**【本文】**  
 仁秀啓。仲秋已涼。伏惟天皇、起居万福、即此仁秀蒙恩。慕感徳等廻到、伏奉書問、慰沃寸誠、欣幸之情、言無以愈。此使去日、海路遭風、船舶摧殘、幾漂波浪。天皇時垂惠領、風義攸敦。嘉貺類繁、供億珍重。実類船舶帰国。下情每蒙感荷、厚幸々々。伏以、兩邦繼好、今古是常。万里尋修、始終不替。謹遣文籍院述作郎李承英、齋啓入覲、兼令申謝。有少土物。謹録別狀。伏垂昭亮幸甚。雲海路遙、未期拜展。謹奉啓。

- 【校異】**
- 1 恩(集意改)―免(類模〔无とも読み取れる〕)―無(類徳・集原・類大)。
  - 2 沃(集・類大)―浚(類模)―浚(類徳)。
  - 3 日(類徳・集・類大)―日(類模)。
  - 4 風ノ下、ナシ(類徳抹・集・類大)―、(類模・類徳原)。
  - 5 終(類徳・集・類大)―給(類模)。
  - 6 土(類徳・集・類大)―土(類模〔「土」と読み取る〕)。
  - 7 亮(類徳傍・集・類大)―高(類模・類徳原)。

**【訓読】**  
 仁秀啓す。仲秋已に涼し。伏して惟みるに、天皇起居万福にして、即ち此れ仁秀恩を蒙る。慕感徳等廻りどり、伏して書問を奉り、寸誠を慰沃し、欣幸の情は、言うに以て愈うる無し。此の使去るの日、海路風に遭い、船舶摧殘し、幾んど波浪に漂う。天皇、時に惠領を垂れ、風義敦くする攸なり。嘉貺は類繁にして、供億すること珍重なり。実に船舶に頼り帰国す。下情毎に感荷を蒙り、厚幸々々なり。伏して以うに、兩邦の好を繼ぐこと、今古是れ常なり。万里修を尋め、始終替はず。謹みて文籍院述作郎李承英を遣わし、啓を齋して入覲し、兼ねて申謝せしむ。少しき土物有り。謹みて別狀に録す。伏して昭亮を垂るれば幸甚なり。雲海路遙かにして、未だ拜展を期せず。謹みて啓を奉る。

**【語釈】**  
 (一) 仁秀 大仁秀のこと。渤海第十代王。在位は八一七、八〇八三〇年(濱田耕策a)。年号は建興、諡は宣王。四世祖は初代王大祚榮の弟野勃、前王大明忠

【校異】 諸本との異同を示す

【訓読】 難読箇所にも解釈を示す

【語釈】 豊富で丁寧な注解

【本文】 各写本を校訂した決定版

【概要】 時代背景を説明

ほかに、原史料を正確に解釈した【現代語訳】や、特に取り上げて言及する必要のある問題点を【考察】で詳説。難解な外交文書を理解する情報を網羅。

鈴木靖民・金子修一・石見清裕・浜田久美子編・八木書店刊 【2015年2月20日出版】		取扱店(番線印)
<b>訳註 日本古代の外交文書</b> 【好評2刷!】 ( ) 冊		
ISBN978-4-8406-2601-9 C3021 ¥10000E 本体 10,000円+税		
お名前(ふりがな)	TEL	
ご住所 〒	FAX	
	E-MAIL	